

# 令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：国際課

担当名：総務・グローバル人材育成担当

内線：2707

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B18	一般旅券発給事務費		一般会計	総務費	県民費	国際交流費	旅券事務費	
事業期間	昭和26年度～	根拠法令	旅券法(昭26.11.28 法律第267号)			宣言項目		
					分野施策	061455 多文化共生と国際交流の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>旅券の適正かつ迅速な発給により、県民の安全な渡航と外国での円滑な事業活動等に資する。また、県民により身近な市町村窓口で旅券申請受付・交付を行うため、権限移譲市町村における適正な事務処理を支援する。</p> <p>(2) 旅券作成及び発給・交付 <math>\Delta 29,310</math>千円 旅券手数料の減に伴う財源更正 (旅券手数料→一般財源377,850千円)</p> <p>(3) パスポートセンター及び2支所維持管理費 <math>\Delta 597</math>千円</p> <p>(4) 事務用消耗品、連絡経費等 <math>\Delta 1,144</math>千円 国庫支出金の受入による財源更正 (一般財源→国庫支出金903千円)</p> <p>(5) 市町村事務移譲経費 <math>\Delta 15,355</math>千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 旅券申請受理等 102千円 災害等緊急時対応自動車借上料</p> <p>イ 旅券作成及び発給・交付 148,998千円(当初 178,308千円) 大宮、川越支所、春日部支所における旅券作成業務委託料、旅券発給業務委託料及び旅券受領証・申請案内等作成代</p> <p>ウ パスポートセンター及び2支所維持管理費 34,515千円(当初 35,112千円) パスポートセンターの施設管理委託料、春日部支所の維持管理費、大宮・各支所の修繕料、電話交換システム機器等リース代金など</p> <p>エ 事務用消耗品、連絡経費等 7,195千円(当初 8,339千円) 大宮、各支所の事務用消耗品、コピー代、電話料金、郵便料、備品等事務的経費</p> <p>オ 市町村事務移譲経費 196,688千円(当初 212,043千円) 旅券発給事務を権限移譲した市町村との間の申請書・旅券等郵送料、旅券事務交付金等</p> <p>(2) 事業計画 一般旅券の発給を行う。 県民サービスの向上のため、身近な窓口である市町村での円滑な旅券申請受付・交付事務を支援する。</p> <p>(3) 事業効果 一般旅券発行件数 令和元年 256,980件、平成30年 247,764件、平成29年 239,199件</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 旅券作成業務は昭和52年度から、発給業務は平成17年度から民間業者委託を導入している。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 旅券作成及び発給・交付：旅券作成及び発給業務委託料の契約差金による減</p> <p>イ 事務用消耗品、連絡経費等：印刷製本費及び事務用消耗品等の節減による減</p> <p>ウ 市町村事務移譲経費：権限移譲市町村窓口との郵送料の減</p> <p>エ 交付件数の減に伴う市町村旅券事務交付金の減</p> <p>オ 旅券交付件数の減少に伴う手数料の減による一般財源の増</p> <p>カ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の受入れによる一般財源の減</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500,000円×15人=142,500千円 3,681,250円×4人=14,725千円 2,850,000円×6人=17,100千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 46,406$	903	$\Delta 377,850$				330,541	387,498
現計額	433,904		446,644				$\Delta 12,740$	